



校長室だより～湘南の空～

第7号

令和4年5月16日

4月26日に対組陸上記録会が行われた。年度初めの行事であり、今後の学校行事に向けて、湘南生の気持ちが一つになったのではなかろうか。

また、部活動での湘南生の活躍も目覚ましい。今後もやり遂げる粘り強さを発揮してほしい。

「憧れの湘南高校！」先日、寒川神社で私の身分を明かした際の相手の方の反応だ。湘南生に憧れる。「憧れの存在」とは、その言動に接した人が勇気もらえる、あるいは夢を託せる存在だ。「憧れの存在」になるために、どう生きるべきか考えてみたい、考えていただきたい。未来の世界を様々な分野から動かすだろう生徒の皆さんに相応しい理念だから。

大義は「憧れの存在になること」

先日、元ラグビー日本代表キャプテンで株式会社HiRAKU 代表取締役 廣瀬俊朗氏が本校を訪れた。廣瀬氏は2012年にキャプテンとして日本代表に選出され、2015年のラグビーワールドカップでは南アフリカ戦での劇的な勝利を含む同一大会3勝に貢献した。廣瀬氏の著書「なんのために勝つのか。」(東洋館出版社)の一節を紹介する。

なんのために勝つのか。

なぜ、僕たちは勝たなくてはならないのか。

それは、大義を実現するためである。

日本代表では、「日本のラグビーファンを幸せにできる喜び」「新しい歴史を築いていく楽しさ」そして「憧れの存在になること」を大義に掲げていた。

(中略)

本気で覚悟をもって取り組む。もし失敗しても次にいかせばいい。気にすることはない。くじけることもない。何もせず傍観していることの方が罪だ。

成功すれば自信になるし、周囲だって変えられるし変わっていく。そう信じよう。自分の行動が、世の中に役立つのだとすると、それは本当に喜ばしいことだ。その喜びをもって歩んでいこう。

また、廣瀬氏は「覚悟を決めれば必ず支えてくれる人が現れる」という。

キャプテンとしてもうひとつ大事にしてきたのは、「信じること」だった。

理念・目標を掲げて突き進むこと自体に価値がある。廣瀬氏の精神は湘南に通じるところがあるのではなかろうか。

余談だが、廣瀬氏とともに来校したのが本校 67 回生で NHK の豊原謙二郎アウンサーだ。湘南時代はラグビー部主将でフランカー、県大会ではベスト 8 にも進出した。

2019 年 9 月 28 日、ラグビーワールドカップ日本対アイルランドの中継はたくさんの方がご覧になったのではなかろうか。実況は豊原アナ。「日本、前回大会南アフリカに続いて、2 度目のジャイアントキリング!!もうこれは、奇跡とは言わせない!!」と絶叫。前回大会の南アフリカ戦の実況も豊原アナだった。

社会や人間のあるべき姿を構想して問題を作れるかどうか

5 月 9 日、パブリックスピーカー、経営コンサルタントとして活躍する山口周氏が 2 年生対象進路講演会のために来校した。

- 昔、世の中に問題がたくさんあった時には、価値の源泉は「解決策を作れる」「正解を出せる」ということだった。
- 今は逆に「社会や人間のあるべき姿を構想して問題を作れるかどうか」が大きな価値の源泉になっている。
 - テスラ：化石燃料依存に終止符を打つ
 - パタゴニア：自然環境を守る
 - Google：世の中の情報を誰もがアクセスできるようにする
 - スタディ・サプリ：教育格差を是正する
- インプットがその人の個性を形作るからこそ、高校時代は夢中になってやれることをやるのが大切。夢中になった事しか残らない。
- 受験勉強が役に立つかどうかは、その後の生き方で決まる。

山口氏の話は湘南に相応しかったのではなかろうか。未来の世界は「まず好きなことを見つけてとことんやってみる」湘南生のような人間を必要としているということだ。生徒の皆さんには、実現したい未来に向けて突き進んでいただきたい。

<https://logmi.jp/business/articles/326494>

山口氏の父は湘南卒であり、その縁もあって今回の講演会を引き受けていただいた。また、山口氏は、今年 4 月に全日空 (ANA) 社長に就任した本校 52 回生の井上慎一さんが格安航空会社 Peach (2011 年～) を立ち上げる時期に仕事を手伝った。